

#### 第4回岩ネット(日和田山)

H24年7月28日(土)

参加者：浦和山の会1名・わらび山の会1名・新座山の会1名・所沢ハイキングクラブ1名  
三郷山の会2名 計6名

9時集合の高麗駅は、真夏の太陽が照り付けていました。日和田山の岩場には、すでにロープが二本垂れ下がってしまっていて。早くに来て準備してくださり、ありがとうございます。水谷講師より、事故の無いよう注意事項聞き、同意書に署名をして、さあ、始めましょうかと言う時、講師から「今日のテーマを自分なりに決めると、もっと岩を楽しめるのでは」のお話がありました。

岩を楽しみたい、岩に触り少しでも高みに行きたい、の参加でしたが、今日のテーマとして、人の命を預かるビレイさせていただき、このロープの先に大事な命があると想うと、身が引き締り手元にも、足元にも力が入ります。

暑いから休みながらにしましょうでしたが、始まると皆様、大汗をかきながら難しい岩に取り付いていました。ロープが汗で濡れてきているようです。「手はもうちょっと上がいい」とか「足は右がいい、左がいい」等々、下からの声が飛び交っています。

午後はコースを変えて楽しんでいたら、雷が鳴り出し雨が来るかもでソワソワ。登攀意欲が萎えてきた時、講師からのありがたい助言です。縦ホールドの体勢は、片方の手で指は揃えて腕を伸ばし、体は斜めにして胸を岩に押し付ける、足は手の下辺りにすると片方の手が空き次の行動できる。また、持つ時は親指でクリップして持つとより力強く握れる。アンダーの取り方、手は下の方が効く。手が決まったら足の置き場を良く見る。7対3、で足が主に登る。ヒールフック等の用語も出てきました。教わったことをその場で試してみると、なるほど上手くできます。これからこのような事を意識しながら岩と向き合い、楽しみたいと思います。ありがとうございました。お陰様で楽しい有意義な汗を流しました。

三郷山の会 磯野京子

